

☆ 韓 国

合繊原料

BASF、韓国で MDI 生産拡大---年産 25 万ト

独の大手化学メーカーBASFは、ポリウレタン原料であるMDIの能力を拡張する。韓国西南部の麗水（ヨス）市にある工場において、MDIの年間生産能力を今年下半期初めにも、現在の19万トから25万トに拡大していく。韓国だけでなく、アジア環太平洋地域向けに安定供給を確保し、ポリウレタン産業により尽力する構えだ。

BASFはまた、電気自動車（EV）向け電子部品分野で、現代一起亜（Hyundai-Kia）自動車グループとの戦略的提携をより強化し、韓国での事業拡大を狙う。

☆ 中 国

国際関係

河南省アパレル、台湾との連携強化へ

5月25日、台湾紡織業拓展会（紡拓会）、河南省アパレル協会が主催した「台湾テキスタイル業界と河南アパレル業界の連携会」が鄭州で開催され、多くのアパレル企業とバイヤーが参加した。台湾からは、力鵬、台元、宏遠、加図、杰昌、東世、東織などの13社が参加した。

紡拓会によると、台湾の繊維輸出のうち、中国大陸（香港を含む）向けは約34%を占める。两岸経済合作枠組協定（ECFA）早期優遇リスト（アーリーハーベスト）の引き下げ2012年1月1日に第二段階となり、台湾から中国向け輸出繊維製品のうち、136項目が既に早期優遇リストに入り、今年までに125品がゼロ関税、11品が5%以下、来年は全てがゼロとなる。この多くはテキスタイル製品である。このため、中国アパレル企業の、台湾製テキスタイルの購入コストが引下げられることが期待されている。

☆ ベトナム

紡績設備

相次いで紡績工場を建設

ベトナムで紡績工場建設が相次いでいる。

紡績企業 Thien Nam Spinning は国内外の需要の高まりを受けて、1,800万ドルを投じ、Binh Duong 省の繊維産業パーク内に年産能力6,600ト（4万錠）の綿糸工場を建設、そのうち80%が輸出向けとなる見込み。

繊維企業 Phong Phu Corp. の子会社 NHA Trang Textile and Garment (Nhatexco) は1,570万ドルを投じ、Khanh Hoa 省に年産能力4,200ト（4万錠）、従業員数300人の紡績工場を建設した。

また、中国の天虹紡織集団（Texhong Textile Group）の子会社 Texhong

textile Vietnamは3億ドルを投じ、中国国境近く Hai Yen 工業地区の Mong Cai City に、年産能力 14 万トンの紡績工場を 3 期に分け、建設予定。6,800 人の雇用創出が見込まれる。製品の 60%が中国向け。2012 年内には建設を開始し、2017 年内には全ての工期が完了する。

☆タイ

業況

輸出不振とコスト上昇に悩む繊維業界

タイ繊維研究所 (THTI) によると、2012 年 1~3 月期の繊維品輸出は前年同期比 15.3%減の 18.4 億ドルと大幅に減少した (詳細なデータは本誌前号 No. 925 巻末参照)。タイ繊維品の主な輸出先である欧米の経済不振の影響を受けたと見られる。一方、タイでは 4 月に最低賃金が約 4 割引き上げられており (バンコクで日給 300 バーツ、約 750 円)、テキスタイルやアパレルなどの国内繊維メーカーで、製造コストがより安価な国への移転を検討する動きがある。

タイの繊維品輸出額

(100 万ドル) (%)

	2011	2011 (1-3)	2012 (1-3)	前年同期比
わた	839.2	239.4	191.5	-20.0
糸類	1,277.5	384.3	246.8	-35.8
織物・ニット生地	1,599.0	400.5	344.9	-13.9
衣類	3,308.5	814.3	757.3	-7.0
その他	1,332.2	337.6	302.3	-10.4
合計	8,356.3	2,176.1	1,842.8	-15.3

(出所) THTI

同期のアパレル輸出額は前年同期比 7.0%減の 7.6 億ドルであった。アパレル輸出が最も増える 4~6 月期も不振となれば、年間輸出額は前年を下回る可能性が高い。タイ衣料品製造者協会 (TGMA) によると、国内アパレルメーカーは欧米に代わる新たな輸出先として中国、日本、アセアン域内に目を向けている。

TGMA は今回の最低賃金引き上げが生産拠点としてのタイの魅力を損なったとしており、繊維メーカーが近隣のミャンマー、カンボジア、ラオスなど人件費の安い国々への移転を検討し始めたと伝えている。しかしそうした国々へ移転するだけの余裕がない中小企業の中には閉鎖を余儀なくされるケースもあるという。

THTI の試算によると、4月の最低賃金引き上げによる製造コスト上昇率はテキスタイルが4%、アパレルが8%であるとしている。

☆マレーシア

不織布

Fibertex Personal Care、1.5万ト/年増設

デンマークの不織布メーカー Fibertex Personal Care は、マレーシア工場に衛材用スパンボンドの最新設備を導入する。投資額は5,500万ドルで、2014年3月までの稼働を目指す。増設規模は1.5万ト、生産能力が約30%拡大する。

同社は、2年前にも4,900万ドル規模の設備投資を行っており、現在はほぼフル稼働の状態。同社はデンマークとマレーシアに6つの生産ラインを有している。今回の増設でマレーシア工場の生産能力は年産7万トに達する。

関係者によると、中国やインド、東南アジアでは以前と比べて衛生水準が向上して製品需要が高まり、巨大な人口を背景に市場の重要性が増している。アジア市場における衛材需要は今後も拡大すると見られており、同社では工場が年内に24時間体制のフル稼働になる見通しに加え、1年半から2年先まで受注が埋まっていることから増設を決めたという。

Fibertex Personal Care の従業員数は約350人。2011年の業績は売上が2.2億ドル、利益が約2,600万ドル。今回増設を行うマレーシア工場は2002年から稼働している。同社製品は、乳幼児用オムツ、大人用オムツ、女性用ナプキンなど日用品のほか、医療用品にも使用されている。